

第12回知床羅臼写真コンテスト 受賞者発表

第12回知床羅臼写真コンテストに多くのご応募を頂きありがとうございました。
厳選なる審査の結果、各賞が決定しましたので、ここに発表致します。

<最優秀賞>

鈴木隆男 「知床の海鷲」

<生き物部門賞>

今本英樹 「熱視線」

<自然部門賞>

水野敏幸 「帽子をかぶる羅臼山」

<スナップ部門賞>

熊谷豊美 「おいしいね」

<アクティビティ部門賞>

片岡亮 「初めてのスノーシュー」

(一社) 知床羅臼町観光協会

応募総数 369 点

(生き物部門 234 点 自然部門 98 点 スナップ部門 27 点 アクティビティ部門 10 点)

審査員講評

【最優秀賞】 鈴木隆男「知床の海鷲」

写真の魅力は一期一会をいかに切り取るか。水面を照らす光の帯に鷲がやって来る一瞬を狙って撮った作品。鷲の動きと波の揺らめきをうまく表現している。構図も素晴らしい。朝日の逆光の中、非常に難しい状況で撮られた素晴らしい作品。

【生き物部門賞】 今本英樹「熱視線」

時化の後、海岸に打ち上げられた昆布に群がる小さな虫を陸の生態系の頂点であるヒグマが食べている珍しい場面を撮った作品

夏の終わり頃、腐敗する昆布に虫が群がり、その小さな虫を体の大きなヒグマが食べて生命を繋ぐ。羅臼の海岸線で起きている食物連鎖を表現した貴重な作品。

【自然部門賞】 水野敏幸「帽子をかぶる羅白山」

国後島の山が歪んで見える蟹気楼をとらえた一枚

手前に流氷・漁船・鷲を収めることで一つの絵として完成されている

撮影当日は真冬でも暖かかった一日。知床の環境の変化をとらえた作品。

【スナップ部門賞】 熊谷豊美「おいしいね」

おそろいの服を着た姉弟のほほえましい写真

姉を見つめる男の子の目が非常にきれいで温かい

作品を撮るという意図よりも今この一瞬を残したいという撮影者の優しさがあふれた一枚。

【アクティビティ部門賞】 片岡亮「初めてのスノーシュー」

初めてスノーシューを履いたら誰でもやりたくなるでしょ！

雪原に踏み出したわくわく感と純粋に自然を楽しむ子供心が伝わってくる心温まる作品。

審査員

審査員長 石井英二

副審査員長 関勝則

審査員 大野貴史